

会議の概要

会議名	第1回宝塚市民文化芸術振興会議
開催日時	平成29年8月18日(金) 15:00~17:00
開催場所	特別会議室
出席委員	藤井委員 梅田委員 中辻委員 柳楽委員 秋津委員 石田委員 (欠席委員2名)
公開の可否	可
傍聴者	なし
議題及び結果の概要	<p>1 開会 会議の成立(宝塚市民文化芸術振興会議規則第5条第2項の規定により成立)</p> <p>2 意見交換 (1) 宝塚市文化芸術振興施策と事業取組状況について</p> <p>事務局から、前年度から変更のあった取組や未掲載であった取組について(資料1)説明</p> <p>委員:「宝塚の特徴を活かした発信と交流の促進」の項目の外国人留学生歌劇紹介事業について、SNS等で海外に宝塚の情報を拡散・PRするとあるが、これは実際にはどのように行われているのか。</p> <p>事務局:留学生の母国のご家族や友人にSNSを通じて発信してもらうようお願いしている。</p> <p>委員: SNSを活用している一例として部署を越えて共有し、その検証結果を含めて情報発信に活かしていけるとよいだろう。</p> <p>委員:「活動助成制度などの研究」の項目のきずなづくり推進事業について、今年度は現代美術の事業と伺ったが、ただ助成をしてうまく事業が実施されるという制度ありきの助成でなく、市として一緒に盛り上げる事業と意識して取り組んでほしい。</p> <p>委員: 募集はどのようにされているのか。</p> <p>事務局: 募集は広報誌でしている。市の助成金なので、宝塚市民を中心とする団体でないと応募できない。</p> <p>委員: 応募が3件というのは少ない気がするが。</p>

事務局：行政の提案するテーマに沿って応募する行政提案型には文化以外に防災やエイジフレンドリーシティなど複数のテーマがある。ほかに自由提案型があり、全体として毎年 20 件ほど応募がある。行政提案型はテーマによっては 1 件しか応募がない場合もある。しかし 1 件だから助成を受けられるのではなく、厳しく審査されている。自由提案型でも文化的内容の応募もあるので、トータルすると文化政策課に意見を求められる事業は毎年 5 件ほどある。

委員：小浜の町並みを維持するための助成金は出てないのか。

事務局：今はない。景観に関しては、まちづくり計画に関係して、まちの中で一定のルールを作っている。

委員：古い景観を保とうとするとお金がかかる。個人の志だけに頼るだけでは、維持は難しいのではないか。

事務局：少し異なるが、清荒神参道の商店が改装する際、町並みを維持するための外装に対する補助はある。

委員：「活動拠点の充実」の項目の中央公民館整備事業について、新しい中央公民館になると、使用料はどうなるのか。

事務局：まだ協議の段階である。

委員：「文化芸術に関する情報の一元化」の広報番組「知ってよ！宝塚」について、ユーチューブにアップしているとのことだが閲覧数はどのくらいか。

委員：今、文化政策課が情報の一元化を試み、民間を含めリンクをさせてきているが、ただそれだけでは足りず、例えばユーチューバーといわれる専門家に指示を仰いで、どうすれば興味を持ってもらえる見せ方ができるかを知ることが大切だ。どのようなかたちで宝塚を見せるかを勉強し、一工夫すれば閲覧数が大幅に増えるかもしれない。

事務局：500～2000 回の再生回数ようだ。岡崎選手の動画で公開から 1 か月程度で 500 回ほど再生されている。

委員：閲覧者がまったくないところから増やすのは難しいが、閲覧数が一定数あるので、一ひねりすれば1万回再生もありうる。

委員：岡崎選手という有名な方の内容で500回は少なく感じる。もっとやり方があるかもしれない。「知ってよ！宝塚」というネーミングが気になる。無意識に格付けされてしまいそう。市民向けの内容なのか。

事務局：広報課が市内のイベントについて制作しており、市民向けのもの。しかしホームページやYouTubeに載せているからには、市外や国外に向けてのものにしていきたい。10年以上前から使用しているネーミングや内容なので、今後工夫をしていきたい。

委員：継続している事業から、新しくすることができるかどうか具体的な見えやすい資料作りをお願いしたい。地道な活動でも見せ方次第でもっとよくなるものがあるはず。新たな文化芸術施設へ向けて道筋となる事業を積み重ねていけるとよい。

委員：各部署に事業をヒアリングする際に、課題等を含めて照会すればよいのではないか。

事務局：次回からの照会の仕方を検討させていただく。

委員：障がい者のある人の活動機会の充実とあるが、今、障がい者の方と社会の関わり方はいろいろなかたちがある。アート活動など。そのような活動とこの資料の活動がうまく繋がっているかどうか判断できない。そのような点も見えてくる資料だとよい。

事務局：今年度から市主催事業で100人以上の方向けに講演等を行う場合、手話通訳と要約筆記をつけるようになった。日本語映画の字幕付き上映の要望などもきている。また新たな展開があれば報告する。

委員：そういった新たな展開を、宝塚がこんなことをしたのね、と伝わるように広報するとよい。

(2) 文化芸術施設整備について

事務局から文化芸術施設についての説明

- ・文化芸術施設にかかる行事予定について
- ・5月に開催した4委員による意見交換会について
- ・文化芸術施設の進捗状況について

委員：美術に限らず、文化芸術、公園という自然環境を含めて、ゆるやかに集える「ハブ」になって欲しい。人が集まり、網の目のように繋がりがあっていくものの象徴にこの施設がなればと期待している。

委員：運営に関して、直営／指定管理とあったが、それによって意見の反映の度合いが変わるのか。市民フォーラムでどのような意見が出て、どの程度反映されるものなのか。

事務局：どちらの運営形態であろうと市の公共施設である。この会議は市の文化面での審議機関であるので、重要な意見として承っていききたい。

委員：市民フォーラムに参加したのだが、1年半ほど前のフォーラムと内容が同じだった。それぞれのグループが意見を出すだけでなく、それらを集約して、何かを決定するようなかたちにならないのか。

事務局：今回は、施設ができたときに運営面でサポートしていただける市民サポーターを探していく、養成していくフォーラムだった。引き続き参加していただきご意見頂戴したい。

委員：運営のシステムは今はどう考えているのか。

事務局：直営／指定管理という点はまだ決まっていない。6月の議会では施設自体の是非を問う声も多くあった。市全体としてにぎわい作りのできる拠点となる施設にすること、それに適した運営にしたいと思っている。

委員：では具体的にどうするのか。指定管理にするとしても、市として具体的に委託する内容を決めなければならないだろう。メインは何なのか。

事務局：施設の運営上の目玉は2階のメインギャラリー。2階は展示スペースとしてアート作品を中心としたい。テーマは現代美術、子ども・家族を対象とした絵本作品、隣接する手塚治虫記念館と連動したアニメや漫画

など。1階は普段から市民が使用する交流スペースを想定している。貸ギャラリーやライブラリー、アトリエ施設など。

委員：今のなかで、「これまでにない」点は何か。

事務局：ひとつは宝塚だからできることとして、手塚治虫記念館や文化創造館と連携して、歌劇や漫画・アニメに関する展開をしていきたい。

委員：現代美術、絵本、漫画それらは単体であれば既存にある。「今までにない」ものを目指すなら、例えば絵本の展示だが現代美術の理解の助けになる、漫画が入口だが2階の展示ギャラリーの内容に繋がる、といった仕組みがあれば新しく感じる。

委員：それは企画力によると思われる。そのためにもどのような人材、運営システムにするかが大切になる。そろそろ決めねばならない。

委員：美術館によって専門とする特性があるように思う。例えば西宮の大谷美術館は絵本原画展など。集めただけで雑多な印象になるともったいない。

委員：コンセプトとして子どもと言っていたので、子どもが触ってもいい美術作品がある、などを打ち出せるといいのではないか。

委員：庭園に子どもたちが遊べるオブジェなどを設置するのも一つの方法。うまく施設の中と公園等の外を連動していけるといい。

委員：10月1日のイベントは自然と美術を融合させようとしており、その例になるのではないか。

委員：このような大きなイベントをするときに、次の施設に落とし込める企画・イベントをしていくべき。このフェスタを充実させていながら中身を検証していけばよい。市民が、あの場所にこういう施設ができるんだろうな、と思えるようなイベントを、場と企画がマッチするものを、継続していくことが重要。春～冬の季節ごとにイベントをするなど細かく企画していくことで、予定地の様子が伝わるのではないか。

事務局：予定地をにぎやかにして、認知度をあげていきたい。

委員：姉妹都市は今は音楽交流が主流だが、大分も静岡も市立美術館がある。浜松市にはガラス絵が中心の美術館がある。美術館同士の交流を考えてもいいのではないかな。

事務局：自治体同士の交流をいかしていききたい。

委員：場所的に、ついでではなく目的をもっていく場所だと思われるので、普段から憩いの場として行く雰囲気作りができればよい。小学生がお昼ご飯を食べに行くなど。

委員：公園自体に安全柵はできるのか。花のみち・さくら橋公園は、安全で地元の方が集まると聞く。行って知っていれば安心して来てもらえる場所になる。一方で大阪など遠隔地から1回目に来させる策が必要。

委員：外からの集客は2階の企画力、1階と公園では継続してなにかをやっている、家族が使用できる場となればよい。3月のたからんまつりもいろいろあって子どもは楽しめる内容だが、統一感がみえずもったいない。10月1日のイベントもそうならないか。

委員：さまざまな団体があると、コンセプトやテーマがあってもなかなか難しい。しかしまずは予定地に立つ施設を知ってもらうために、機運を盛り上げるために、10月1日のようなイベントをやりながら考えることが重要。その後だんだん範囲を狭めながら、方向性を絞り込んでいければよい。そのためにも各キュレーターをたてられるディレクターが必要になってくる。市の方向性を踏まえて話し合える人物がいいだろう。

委員：このイベントに美味しい飲食のブースは出るか。食は集客力がある。

委員：京都市のイベントで、主催するチームに子育て中のメンバーがおり、その人たちが子どもに食べさせたい安全なものをテーマに出店要請をした例がある。そのような店が出店すると、店が常連客に声をかけるためいい広報となった。宝塚にも子育て中でそのようなことに興味のある人がいると思う。募集や市民サポーター作りの中で、そういった人を見つけていけるとよい。飲食だけに限らず、市民にかかわってもらえるとよいだろう。

委員長：何か気づきの点があれば連絡もらいたい。市の方からも、逐一情報をもらえれば、意見を出してきたいと思う。

【方向性2】 つながる

文化芸術活動を通して地域コミュニティを醸成し、人と人がつながるまちづくりをめざします。

(1) 施設のネットワーク化による活動支援

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	阪神北部4市1町広域文化事業	通年	—	宝塚、伊丹、川西、三田、猪名川の各文化施設の市町内外料金の格差を撤廃し、4市1町の利用について、市町内外料金を適用する。	市町内外料金を引き続き適用した。 ・ベガ・ホール 47件 ・ソリオホール 281件 ・文化創造館 2件	・継続して実施	文化政策課 政策推進課

(2) 宝塚ゆかりの文化人や芸術家との連携

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課	
1	美術品展示事業	—	市役所本庁舎	市への寄贈作品や本市ゆかりの美術家の作品展を開催する。また、市展の上位受賞作品の展示を行う。	・寄贈作品(中畑氏)を市庁舎に新しく常設展示 ・平成27年度の市展受賞作品 市庁舎で展示(～5月末)	・平成28年度の市展受賞作品 市庁舎で展示(～5月末)	文化政策課	
2	宝塚市文化団体連絡会の運営	通年	宝塚文化創造館 花のみち・さくら橋公園	文化財団が中心となり、市内で活動する会員数が10名以上の文化団体を対象に入会を呼びかけ、文化団体相互の連携と情報交換を行う。	・加盟団体数 12団体 ・3/25～26 わくわく！そうぞう！たからんまつり(参加者数のべ3,000人)	3月開催予定	文化政策課 (文化財団)	
3	TAKARAっ子いきいきスクール	通年	各学校	「みんなの先生」として地域の人材を活用したり、専門性の高い郷土出身者を「ふるさとの先輩」として招聘するなど、地域の教育力を取り入れた活気あふれる学校園づくりを目指す。	・派遣校 市立幼稚園12校、市立小学校24校、市立中学校12校、市立特別支援学校1校 ・登録人数 個人登録608人、団体登録121団体	・継続して実施	学校教育課	
4	聖光文庫文化講座	毎年1回	中央図書館	清荒神清澄寺の後援を得て、鉄斎美術館と共催で講師を招き文化講座を開催する。	・12/4に第1講「雪舟と鉄斎」、第2講「鉄斎が顕彰する歴史」を開催した。 ・参加者数 108人	12月に中央図書館にて伝統芸能に関する講演会を開催予定	中央図書館	
未掲載	5	村野藤吾受賞記念講演会	隔年に1回 (東京・宝塚)	市民ホール	生前市内清荒神に在住し、宝塚市役所庁舎やカトリック宝塚教会などの設計を手掛けられた、故村野藤吾さん(建築家)を記念し贈呈される村野藤吾賞の受賞記念講演。村野藤吾記念会との共催。	東京都内で記念講演会を開催	5/27に開催	政策推進課

(3) 宝塚の特徴を活かした発信と交流の促進

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	宝塚ベガ音楽コンクール	—	ベガ・ホール	音楽専用ホールとして特徴を活かし、平成元年(1989年)から開催しており、全国の若い有能な演奏家を発掘する大会として定着している。一般家庭が出場者のピアノ練習場所を提供するなど、市民参加型コンクールとして実施している。(ピアノ部門、木管部門、声楽部門)	・声楽部門 [予選]6/4、5[本選]7/2 ・ピアノ部門 [予選]6/11、12[本選]7/3 (出場者数161人、入場者数[予選]のべ619人[本選]のべ333人)	・ピアノ部門 [予選]6/3、4[本選]6/24 ・木管部門 [予選]1次6/9、10 2次6/11 [本選]6/25 ・ベガ・ホールで開催	文化政策課 (文化財団)
2	宝塚国際室内合唱コンクール	—	ベガ・ホール	音楽専用ホールとして特徴を活かし、昭和59年(1984年)から開催している。“少人数による室内合唱”のコンクールで、演奏する曲目の年代により審査部門をわけているユニークなスタイルで開催している。	・[コンクール]7/23[特別演奏会]7/24 (出場団体数18団体(内海外団体5団体)、入場者数[コンクール]466人、[特別演奏会]394人) ・関連企画 7/21 合唱交歓会「コーラスマスタークラス『近現代作品(フィリピン)の合唱作品』」入場者数46人 7/22TICC前夜祭 来場者数350人	・7/22、23にベガ・ホールで開催 前夜祭7/21	文化政策課 (文化財団)
3	宝塚学検定	毎年1回	ソリオホール	宝塚のまちの魅力を再発見し、まちに対する理解や関心を深めてもらうことを目的として実施。	3/20 申込者数266人 受験者数249人 合格者数218人 ・関連企画(宝塚まち歩き) 5/8 「歩こう! 学ぼう! 武庫川再発見」(参加者数68人) 11/23 「プラ宝塚～川からみた宝塚」(参加者数109人) 12/3「まちかどモニュメント巡り～もっと知ろうアートな作品」(参加者数73人)	・3月にソリオホールで開催	文化政策課 (文化財団)
4	すみれ♪ミュージアム	通年	宝塚文化創造館	宝塚音楽学校のゆかりある校舎で、予科・本科の2年間を追った写真や授業で使用された教材を展示し、実際の授業風景、課外授業などを紹介する。	・企画展「宝塚歌劇音楽祭 思い出の名曲集2」の開催(入場者数7,208人)	・企画展「宝塚歌劇バックステージツアー」を開催	文化政策課 (文化財団)
5	タカラヅカ・ノスタルジックコンサート	年2回	宝塚文化創造館	宝塚歌劇のテーマ曲や懐かしの歌謡曲を、宝塚歌劇団OGが歌うコンサートを開催する。	・7/17 入場者数334人 ・2/5 入場者数165人	・10月、2月に文化創造館で開催予定	文化政策課 (文化財団)
6	宝塚映画祭	—	シネ・ビピア	かつて「映画の都」だった宝塚の歴史を伝えていくため、宝塚映画製作所で撮影された映画の上映やトークショーを開催する。	・11/19～25 「宝塚映画名作選」シナリオセンター大阪校制作ショートシネマほか ・来場者数841人	・10～11月にシネ・ビピアで開催予定	文化政策課 (宝塚映画祭実行委員会)
7	宝塚歌劇市民貸切公演	毎年1回	宝塚大劇場	宝塚歌劇100周年を機に開始。宝塚歌劇の魅力伝えるため、市民、在勤者、通学者を対象とした貸切公演を開催する。	・11/20 花組公演 宝塚舞踊詩『雪華抄』 ・申込数6813人、参加者数2477人	・1月または2月に開催予定	観光企画課 (国際観光協会)
未掲載	外国人留学生歌劇紹介事業	年数回	宝塚大劇場	近隣大学に在籍する留学生に対し、宝塚歌劇観劇料の一部を助成し、本市独自の芸術文化を体験してもらい、SNS等で海外にも宝塚の情報を拡散させ、広くPRする	11大学513名が観劇	300名程度の規模で実施予定(開催時期未定)	観光企画課 (国際観光協会)

(4) 姉妹都市、友好都市等との文化芸術交流

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	大分市との文化交流	—	—	災害相互応援協定の締結を機に、西洋音楽と西洋演劇の発祥地として文化芸術を推進している大分市との交流を、平成25年(2013年)から行っている。	・10/22 宝塚市交響楽団ストリングカルテットがおおいた夢色音楽祭に出演	・10月に大分市からシンガーソングライターが宝塚音楽回廊に出演予定	文化政策課
2	浜松市との文化交流	—	—	市花すみれで交流があった春野町が浜松市とが合併したことを機に、日本を代表する音楽文化都市として発展している浜松市との交流を、平成26年(2014年)から行っている。	・11/5 浜松市から弦楽合奏団アンサンブルムジーク浜松が宝塚市民合唱祭に参加	・9月に浜松市へ、宝塚市から少年少女合唱団が浜松市の合唱団ジュニアクワイア浜松の定期演奏会に参加予定	文化政策課
3	国際姉妹都市等との交流(ウィーン市第9区、オーガスタ・リッチモンド郡)	不定期	西公民館等	海外の音楽家のコンサートを開催するなど、国際姉妹都市などとの文化交流を深めている。	・8/7 市内在住等の外国人演奏家によるコンサート(来場者数291人) ・9/5 「ウィーンの風について」ウィーン市第9区姉妹都市連携22周年記念コンサート(来場者200人)	・7月にソリオホールで外国人演奏者を中心としたメンバーによる演奏会を開催予定 ・10月にベガ・ホールでゲーデ管弦四重奏団コンサートを開催予定	文化政策課 (国際交流協会)

【方向性3】 ともに楽しむ

文化芸術に触れ、活動できる機会を提供し、市民誰もがともに楽しめる環境づくりをめざします。

(1) 子どもを対象とした文化芸術事業の充実

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	文化財団事業	通年	ソリオホール等	こども落語教室、こどもいけばな教室、たからんまつりなどを実施する。	・ピアノとパイプオルガンのひみつ 入場者数185人 ・0歳からのクラシックコンサート 入場者数430人 ・びっくり箱(朗読劇、ワークショップなど、東日本チャリティ公演) 入場者数のべ755人 ・あおぞらげきじょう 参加者数のべ2,050人 ・こどもいけばな教室 参加者数15人 ・たからんまつり 参加者数のべ3,000人 ・こども落語教室 参加者数11人 ・人形劇団京芸公演 入場者437人	・継続して実施 ・8/4 はっけん! ピアノのふしぎとホールのひびき(平成28年度「ピアノとパイプオルガンのひみつ」) ・9月 0歳からのクラシックコンサート ・3月 びっくり箱 ・5~11月 あおぞらげきじょう ・3/4~5/28 こどもいけばな教室 ・3月 たからんまつり ・7~8月 こども落語教室 ・12月人形劇団クラレテ公演	文化政策課 (文化財団)
2	大型児童館事業	通年	プレミア宝塚	中高生を対象にミュージックスクールなどを実施する。	・ミュージックスクール 10回(参加者数のべ19人) ・夢のかげはしクラブ 39回(参加者数のべ459人)	・継続して実施	子ども家庭支援センター

3	人権文化センター事業	通年	各人権文化センター	小・中学生を対象とした絵画教室や書道教室、夏休みに小学生を対象に工作教室を実施する。	・くらんど 8事業(参加者数のべ1,703人) ・まいたに 定例講座事業(参加者数のべ3,040人) ・ひらい 6事業(参加者数のべ1640人)	・くらんど 施工工事のため、11月～3月に例年の半分程度の規模で開催予定。夏休みの子ども向け事業は中止。 ・まいたに 5月～2月/書道教室など ・ひらい 6事業について継続して実施	各人権文化センター(くらんど、まいたに、ひらい)
4	夏休み子どもプログラム	—	東・西公民館ほか	夏休み期間中に子どもを対象にしたコンサート、工作教室などを実施する。	・7～8月 ・みんなげんきコンサート(参加者数300人) ・夏休み工作教室(参加者数のべ31人)	・8/21 みんなげんきコンサート ・夏休み工作教室(8/2東公民館、8/4西公民館)	東公民館
5	宝塚市少年少女音楽隊/バトン隊	通年	各小学校	【音楽隊】市内9小学校で活躍する音楽隊が、学校の式典や文化祭での発表など校内での活動のほかに、コンクールや発表会、地域の行事で演奏している。	隊員数192人 ・5/28 社会を明るくする運動啓発パレード(参加者数42人) ・11/26 発表会(ベガ・ホール) ・その他地域のお祭りやクリスマスコンサートに参加	・5/20 社会を明るくする運動啓発パレード ・12月にベガ・ホールで発表会を開催予定	青少年課
6				【バトン隊】市内3小学校バトン隊と1中学校バトン隊が、花と緑のフェスティバルなどの地域の行事に参加している。	隊員数92人 ・5/28 社会を明るくする運動啓発パレード(参加者数23人) ・8/24 宝塚サマーフェスタ(参加者数49人) ・3/5 発表会(スポーツセンター)	・5/20 社会を明るくする運動啓発パレード ・8月に宝塚サマーフェスタに参加予定 ・3月にスポーツセンターで発表会を開催予定	
7	サマースクール	—	東・西公民館	夏休み期間中に、公民館活動グループが指導者となり、小・中学生を対象にサマースクールを開催し、学習の成果を還元する。	・7/25～28 36事業(参加者数のべ467人)	7/25～28に、東・西公民館で、手工芸、演劇、工作などのコースを開催	東・西公民館
8	宝塚文化芸術施設及び庭園整備事業(プレ事業)	—	施設予定地及び文化創造館などその周辺	文化芸術施設及び庭園の開設に向けて、市民の関心や期待を高めるため、様々な事業を展開していく。	・12/4「葉っぱの化石づくりと植物かんさつ」参加者16組32人 ・2/11「えっちゃんのお庭さんぽと絵本づくり」参加者6組13人	10月にワークショップ開催予定	文化政策課
9	宝塚市文化団体連絡会の運営【再掲】	通年	—	文化財団が中心となり、市内で活動する会員数が10名以上の文化団体を対象に入会を呼びかけ、文化団体相互の連携と情報交換を行う。	・加盟団体数 12団体 ・3/25～26 わくわく! そうぞう! たからんまつり(参加者数のべ3,000人)	継続	文化政策課(文化財団)

(2) 学校教育事業、社会教育事業の充実

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	のびのびパスポート事業	通年	各施設	神戸市を中心とした博物館、美術館などを無料で利用できるパスポートを小中学生に配布し、子どもたちの豊かな情操や感性を育むために活用する。印刷製本費を市で負担。本市対象施設：手塚治虫記念館、小浜宿資料館、歴史民俗資料館、旧和田家住宅、宝塚文化創造館	のびのびパスポート利用者数 ・手塚治虫記念館 4,292人 ・宝塚文化創造館 90人	・神戸市の近隣市町で継続して実施 ※類似事業：ひょうごっ子ココロンカード	社会教育課 手塚治虫記念館 文化政策課(文化財団)
2	TAKARAっ子造形作品展	—	市内公民館	市立幼稚園、小・中・特別支援学校の子どもの図工や美術などの造形作品を展示する。	・1/13(金)～18(水) ・東公民館	・1月に東公民館で作品展示の予定	学校教育課
3	小・特別支援学校合同音楽会	—	ベガ・ホール	市立小学校4年生が、合唱と合奏を発表し交流する。7部制で3日間開催。	・11/22～24(参加人数2,201人)	11月にベガ・ホールで開催予定	学校教育課
4	中学校合同音楽祭	—	ベガ・ホール	市立中学校12校が、合唱を発表し交流する。2部制で1日開催。	・11/1(参加人数422人)	10月にベガ・ホールで開催予定	学校教育課
5	吹奏楽フレッシュコンサート	—	川西市みづなかホール	市立中学校のコーラス部、吹奏楽部による部活動発表会。	・4/30(参加人数448人)	5/3川西市みづなかホールで開催	学校教育課
6	中学校部活動外部指導者活用事業	通年	各中学校	宝塚市部活動推進委員会に委託し、中学校の部活動に外部指導者を派遣する。	・宝塚市部活動推進委員会に委託 派遣人数57人(茶道2人、茶華道2人、琴1人など)	・継続して実施	学校教育課
7	対外課外活動補助金	通年	各中学校	各中学校の部活動の充実を図るため、中学校部活動支援補助金、対外課外活動補助金として、各種大会の参加費や交通費などを補助する。	・部活動における補助 12校	・継続して実施	学校教育課
8	中学校吹奏楽部楽器購入	通年	各中学校	吹奏楽部の楽器購入の支援を行う。	・購入支援 4校7台	・継続して実施	学校教育課
9	宝塚市民カレッジ	通年	東・西公民館 他	市民の多様な学習ニーズに応え、テーマ毎に展開する成人講座。	・6～1月 計8回(参加者数のべ7753人) ・童謡サロンコース、文化と歴史、講談コースなど全15コースを開催	継続して実施 6～1月 計8回 「童謡サロンコース」「文化と歴史コース」「講談コース」など全15コースを開催予定	東公民館

未掲載	10	歴史教室	9月	くらんど人権文化センター	「宝塚の近代・中世」をテーマとした教室を開催。	・講師は藤井裕行さん(ノンフィクションライター)ほか。4日間延べ56人出席	開催予定(時期未定)	くらんど人権文化センター
	11	TAKARAっ子いきいきスクール 【再掲】	通年	各学校	「みんなの先生」として地域の人材を活用したり、専門性の高い郷土出身者を「ふるさとの先輩」として招聘するなど、地域の教育力を取り入れた活気あふれる学校園づくりを目指す。	・派遣校 市立幼稚園12校、市立小学校24校、市立中学校12校、市立特別支援学校1校 ・登録人数 個人登録608人、団体登録121団体	・継続して実施	学校教育課

(3) 高齢者を対象した講座などの充実

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	元気な長寿の仲間たち展	—	宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)	宝塚市展に出展した80歳以上を対象にした展覧会で、毎年、敬老の日を含めた期間に開催している。	・9/15～19 出品者数27人、作品数41点(入場者数286人)	・9月に文化創造館で開催予定	文化政策課 (文化財団)
2	いきいき学舎プレミラ	通年	プレミラ宝塚	2年制・4コースのシニアカレッジを開講している。文学・音楽・美術の鑑賞や写真、演劇、歌唱、舞踊、生活文化を学ぶ。	・ふるさと発見コース 計40回(出席者数のべ1,083人) ・総合生活コース 計68回(出席者数のべ1,206人)	・健康とまちづくりコース 年間34回 ・ふるさと発見コース 年間20回 ・環境・自然コース 年間34回	高齢福祉課
3	はつらつ教室	通年	プレミラ宝塚	宝塚市内に住む60歳以上の方を対象。講師陣に一芸に秀でたアクティブシニアを迎え、シニアの社会貢献の機会としてボランティアで教えていただく。	・17講座(受講者数のべ7,817人) ※プレミラ教室として開催	1年コース 9教室開催 半年コース 2教室開催	高齢福祉課
4	老人福祉大会	—	宝塚ホテル	宝塚市老人クラブ連合会主催により、日頃のクラブ活動の成果を発表する場として開催している。	・11/15(参加者数680人) ・合唱や舞踊など、27グループによる発表	・11月に宝塚ホテルで舞踊や合唱などの芸能大会を開催する予定。	高齢福祉課 (市老人クラブ連合会)

(4) 障がいのある人の活動機会の充実

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	障がい者社会学級 ・青い鳥学級(視覚障がい) ・たつのご学級(聴覚・言語障がい) ・ふれあい学級(中途失聴・難聴)	—	東公民館他	障がいに応じて、社会人としての幅広い知識や教養、また日常生活を向上させるための技術や能力を習得するとともに、多くの人たちとの交流を通して相互理解を深め、ともに生きる喜びを創造する。	・7～12月 社会見学や料理教室を実施 ・青い鳥学級 受講者数のべ91人 ・たつのご学級 受講者数のべ104人 ・ふれあい学級 受講者数のべ40人	継続して実施 ・青い鳥学級 7～10月に料理教室や社会見学などを開催予定 ・たつのご学級 10月～12月に料理教室や社会見学を開催予定 ・ふれあい学級 未定	東公民館
2	ふれあい作品展	—	西公民館	特別支援学級及び市立養護学校、特別支援学校(こやの里、こぼと聴覚)の幼児児童生徒作品を展示し、発表や交流の機会としている。	・2/2～7	1月末～2月初頃に開催予定	学校教育課
3	さよならコンサート	—	フレミア宝塚	特別支援学級の児童生徒が集いコンサートを実施する。卒業生を送る意味も込めている。	・2/13(参加人数143人)	2月頃開催予定	学校教育課

(5) 福祉関係団体との連携

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	文化事業の共催、補助	通年	公民館等	・障害者(児)団体連絡協議会、障害福祉市民懇談会、老人クラブ連合会と連携して事業を実施する。	障害者(児)団体連絡協議会への補助金の交付 ・手をつなぐ育成会など5団体 障害福祉市民懇談会との共催 ・9/17 愛と理解のチャリティコンサート(参加者数180人) ・12/18 宝塚障害児(者)クリスマス大会(参加者数330人(ボランティア含む)) ・3/12 ふれあいコンサート(参加人数200人) 老人クラブ連合会と共催 ・11/15 老人福祉大会(参加者数680人)	継続して実施	障害福祉課 高齢福祉課

(6) アウトリーチ活動の充実

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	学校コンサート 出前落語	通年	各学校	市内小学校を対象に、学校の音楽室や体育館にて、アンサンブルなどの生演奏の披露や、楽器に触れる体験、出前落語の企画・実施する。	・学校コンサート 10～12月 計12校(参加者数2,071人) ・出前落語 7月 計2校(参加人数240人)	・学校コンサート 市内12校で実施予定 ・出前落語 市内3校で実施予定	文化政策課 (文化財団)
2	福祉施設等コンサート・劇団活動	通年	市内福祉施設等	市内の保健・医療・福祉施設を対象に、出張コンサートや劇団BIGMOUSEによるアウトリーチ活動を実施する。	・コンサート 10月 計3施設(参加者数224人) ・劇団BIGMOUSE 12月～3月 計3施設(参加者66人)	・コンサート 市内2施設で実施予定 ・劇団BIGMOUSE 市内2施設で実施予定	文化政策課 (文化財団)

【方向性4】 伝える

地域に受け継がれた貴重な文化遺産を伝え、市民がまちに愛着を持てるまちづくりをめざします。

(1) 文化遺産、文化財の保全、管理

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	文化財保護事業	通年	—	市内に残る文化遺産の保全に努めるとともに、重要なものについては、文化財の指定・登録を進め保全を図る。また、指定文化財の保全に補助金を交付するなどの保護措置を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・国登録有形文化財に新たに登録「高添家住宅」 ・八幡神社防災設備点検補助金の交付 ・近世絵図修復補助金の交付 ・近世絵図の修復 ・開発にともなう古墳調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・万籟山古墳調査報告会の開催予定 ・文化財の指定・登録、文化財保護事業補助などを実施予定 	社会教育課

(2) 市民ボランティアとの協力体制の強化

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	社会教育推進事業	通年	—	公民館主催の市民カレッジなどの事業において、ボランティア団体である文化財ガイドソサエティなどと協力し、文化財の普及・啓発を図る。	市民カレッジ「宝塚の景観・風景みどころ探訪コース」を主催し、文化財ガイドソサエティが文化財等の解説を行った。計8回(参加者数のべ7753人)	平成28年度と同様に市民カレッジ「宝塚の景観・風景みどころ探訪コース」を文化財ガイドソサエティと協力して実施する。	社会教育課
2	宝塚学博士の会	—	ソリオホール等	宝塚学検定の上級合格者で構成される「宝塚学博士の会」による街歩きや研究活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・博士の会 33人(街歩き、研究発表、PR) ・街歩きグループ協力企画 12/3「まちかどモニュメント巡り〜もっと知ろうアートな作品」(参加者数73人) 	継続して実施	文化政策課 (文化財団)

(3) 資料館等の管理、運営

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	歴史民俗資料館管理運営事業	通年	小浜宿資料館、旧和田家住宅、旧東家住宅	歴史民俗資料館の管理運営を行い、広く市内に残る歴史資料を公開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小浜宿資料館 入館者数4,346人 ・旧和田家住宅 入館者数3,338人 ・旧東家住宅はH28年4月から休所 	<ul style="list-style-type: none"> ・小浜宿資料館、旧和田家住宅の運営 ・旧東家住宅は8～11月の土・日曜・祝日に一般開放 	社会教育課

(4) 文化財保護の推進、地域伝統芸能の調査、研究

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	文化財保護事業	通年	—	文化財の保護を進めるとともに、「たからづか歴史散歩ガイドマップ」の配布や、市民に対する講座などで文化遺産を伝え、市民が愛着を持てるまちづくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドマップを主に窓口で継続して配布 ・3/14に旧和田家住宅にて歴史講演会を開催 ・11/23に国登録文化財である小林聖心女子学院開放事業を、学校・地元自治会と協働で行った。来場者91人 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生推進交付金を活用し、たからづか歴史散歩ガイドマップの更新を行う。 ・11月に小林聖心女子学院開放事業を開催予定 	社会教育課 文化政策課

(5) 伝統芸能の保全と継承

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	たからづか能	—	ソリオホール	平成15年(2003年)から毎年開催。日本の伝統芸能「能楽」を上演するとともに、公演への理解を深めるため、公演前に参加型講座や能舞台での狂言体験なども実施する。	・5/7(入場者数193人)	・5/14にソリオホールで開催	文化政策課 (文化財団)
2	ソリオ夏の落語会	—	ソリオホール	上方落語の寄席を実施し、日本の話芸である落語を生で楽しめる機会を提供する。	・8/20(入場者数172人)	・8月にソリオホールで開催予定	文化政策課 (文化財団)
3	文化財団事業 【再掲】	通年	ソリオホール等	こども落語教室、こどもいけばな教室、たからんまつりなどを実施する。	(ソリオホール・カルチャー) ・3月～5月 こどもいけばな教室 5/22伝統芸能フェスティバルで作品展示 ・7月～8月 こども落語教室 8/20夏の落語会で発表会	継続	文化政策課 (文化財団)

(6) 活動環境、発表機会の充実

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	宝塚市展	—	ソリオホール	日ごろから芸術を愛好し、創作活動に励んでいる人々の作品を公募し、入賞・入選作品を展示する。(洋画、彫塑、写真、デザイン、書、工芸、日本画の7部門)	・1/20～24(応募点数586点、入場者数のべ2,569人)	・1月にソリオホールで開催予定	文化政策課 (文化財団)
2	宝塚市芸術展	—	国際・文化センター	宝塚市文化連盟会員の作品展を、宝塚市展と同じ部門で、同時期に開催する。	・1/20～24(出品点数111点、入場者数のべ749人)	・1月に国際・文化センターで開催予定	文化政策課 (文化財団)
3	宝塚伝統芸能フェスティバル	—	ソリオホール	伝統芸能を愛好する市民が一堂に会し、日頃の稽古の成果を発表する。	・5/22(長唄、民謡民舞など参加団体数9団体、入場者数のべ1,600人)	・5/28にソリオホールで開催	文化政策課 (文化財団)
4	宝塚市民合唱祭	—	ベガ・ホール	市内で活動する合唱団が一堂に会し、日頃の練習成果を発表する。	・11/5～6(出場団体数39団体、入場者数のべ1,780人)	・11月にベガ・ホールで開催予定	文化政策課 (文化財団)

未掲載	5	くらんど解放文化祭	—	くらんど人権文化センター	センターで活動を行っている団体(生花、書道)の作品や、一般から公募した作品、地元の小・中学校児童・生徒の作品を展示する。	・10/27、28(入場者数のべ3,199人)	・未定	くらんど人権文化センター
	6	まいたに解放文化祭	—	まいたに人権文化センター	定例講座(書道など)受講生やサークル(生け花など)などによる作品を展示する。	・11月10日・11日(入場者数のべ1,924人)	11/9～10に開催予定	まいたに人権文化センター
	7	ひらい解放文化祭	—	ひらい人権文化センター	センターで活動を行っている団体の作品や近隣小・中学校、幼稚園・保育所・児童館の児童・生徒の作品を展示する。	・11/11・12(入場者数のべ1,623人)	11/10～11に開催予定	ひらい人権文化センター
	8	公民館まつり	11月	東・西公民館	公民館で活動している団体・グループが、日頃の学習成果を発表することにより、さらに多くの人々や文化との「であい」や「ふれあい」を分かち合うことを目指して開催している。	11/1～4 来場者 2館のべ、6003名	継続して実施 11/1～4に開催	東・西公民館
	9	邦楽のつどい	—	ソリオホール	園児、児童、生徒が和楽器(琴、太鼓)を主体とした演奏及び地域伝統芸能を披露する。	2/11 公立幼稚園 2園、公立小学校 7校、私立中学校 1校 計10校園12グループが参加	・1月にソリオホールで開催予定	学校教育課

(7) 伝統、文化教育推進事業の充実

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	宝塚歌劇鑑賞事業	—	宝塚大劇場	小・中学生を対象に、宝塚歌劇の鑑賞を行い、豊かな情操や感性を育むとともに、ふるさと意識を高める。	・市立12中学校、市立養護学校1校、私立中学校1校 計2,041人(鑑賞日:1月～3月) ・市立小学校4校 計573人(鑑賞日:1月、2月)	・市立12中学校、市立養護学校1校、私立中学校で1月～3月に実施予定 ・市立小学校5校で1月～2月に実施予定	学校教育課
2	邦楽のつどい 【再掲】	—	ソリオホール	園児、児童、生徒が和楽器(琴、太鼓)を主体とした演奏及び地域伝統芸能を披露する。	2/11 公立幼稚園 2園、公立小学校 7校、私立中学校 1校 計10校園12グループが参加	・1月にソリオホールで開催予定	学校教育課
3	歴史民俗資料館管理運営事業 【再掲】	通年	小浜宿資料館、旧和田家住宅、旧東家住宅	歴史民俗資料館の管理運営を行い、広く市内に残る歴史資料を公開する。	・小浜宿資料館 入館者数4,346人 ・旧和田家住宅 入館者数3,338人 ・旧東家住宅はH28年4月から休所	・小浜宿資料館、旧和田家住宅の運営 ・旧東家住宅は8～11月の土・日曜・祝日に一般開放	社会教育課

(8) 伝統ある優れた食文化の継承

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	味噌づくり教室	—	くらんど人権文化センター	昔ながらの方法で味噌をつくる教室を開催する。	・2/1(参加者数9人)	開催予定(時期未定)	くらんど人権文化センター
2	食育推進事業	—	公民館等	第2次たからづか食育推進計画に関する講演会などを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・4/23.24 花と緑のフェスティバルに、たからづか食育推進計画PRブース出店 来場者数計688人 ・6/18 第2次たからづか食育推進計画 特別講演会『だしのおいしさと健康』参加人数150人 ・8/29 たからづか食育フェア 参加人数300人 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/22.23 花と緑のフェスティバルに、たからづか食育推進計画PRブース出店 8/19たからづか食育フェア開催予定 	健康推進課
3	宝塚いずみ会委託事業	通年	公民館	「季節の伝統料理教室」を、季節料理や伝統料理をテーマに実施する。	・4回(参加人数 計49)	4回実施予定	健康推進課
4	給食事業	通年	市立小、中学校、特別支援学校	安心で安全な学校給食を継続的に実施することで、健全な食生活の習慣を身につけ、心身の健全な発達に資するとともに、食育の「生きた教材」としての役割を担う。	継続して実施	・継続して実施	学校給食課

【方向性5】 守る

市民の貴重な財産である、まちに息づいた景観を守り、宝塚らしいまちなみづくりをめざします。

(1) 都市景観の形成に関する啓発活動

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	景観にかかる啓発活動支援	—	公民館等	景観フォーラム開催や市民主体の景観にかかる活動の支援を通じて、市民に対し景観に関する知識の普及啓発を行い、協働による景観形成を図る。	・11/22 西公民館で市民フォーラムを開催「景観からのまちづくり ～コミュニティの力でまちをつくる～」(参加者数 82人)	・景観資源発掘事業団体との協働 実施予定2件	都市計画課

(2) 良好な景観を形成する制度の充実

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	景観計画特定地区の指定	通年	—	良好な景観をつくるために必要なルールを定め、個性的なまちづくりを進めていくため、景観法に基づく景観計画に位置付ける景観計画特定地区として定める。	・武庫川町西地区(ガーデンフィールズ跡地)を指定(H28年度末現在 9地区)	・指定予定地区は未定であるが、継続して実施。	都市計画課
2	都市景観形成建築物等の指定	通年	—	市都市景観条例に基づき良好な都市景観を形成し、地域の雰囲気の特徴づけている又は歴史的価値、文化的価値又は建築的価値を有している建築物などを指定し、その保全整備をはかる。	新たな指定なし。(H28年度末現在 20地区)	・継続して実施。	都市計画課
3	景観重要建造物の指定	通年	—	景観法に基づき、良好な景観の形成に重要な建造物で、市の景観を特徴づけている又は歴史的価値、文化的価値又は、建築的価値を有し、市民に親しまれている建造物を指定し、その保全整備をはかる。	新たな指定なし。(H28年度末現在 0地区)	2件指定予定	都市計画課

未掲載

【方向性6】 発信する

いつでも、身近で気軽に、文化芸術に触れ、親しめるよう様々な情報が発信できる体制づくりをめざします。

(1) 文化芸術に関する情報の一元化

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	広報たからづか	通年	—	毎月発行する広報たからづかの「お知らせ版」などにて、イベント開催や各課の取組などを周知する。	・月1回市内各戸に配布(106,000世帯)	・継続して実施	広報課 各課
2	市ホームページ	通年	—	イベントカレンダーや各分野のページ、市広報課アカウントのFacebookにて、市主催・共催・後援事業の開催や各課の取組などを周知する。	・文化芸術関連ページアクセス数 21,154回	・継続して実施	広報課 各課
3	市広報板の活用	通年 (月2回ポスターを張り替え)	市内約230箇所	市内約230箇所に設置する市広報板に、イベントの開催などを周知するポスターを掲示する。掲示について、市主催・共催事業はシルバー人材センターに委託し、後援事業については各団体に掲示している。	・広報板掲示依頼(文化政策課、文化財団の主催・共催・後援事業) 97件	・継続して実施	広報課 各課
4	エフエム宝塚での放送	通年	—	コミュニティFM局であるエフエム宝塚から情報を発信する。また、外国人に向けては、情報を多言語でも発信する。	・「ゲストコーナー」平日朝30分間、イベント主催者などを招いて紹介。 ・「たからづか便り」毎朝15分間イベント発信として放送。 ・「フォーリンカルチャー」平日朝夕各60分韓国語・朝鮮語、中国語、英語、ポルトガル語でイベント情報などを発信。	・継続して実施	広報課
5	広報番組での発信	通年	—	市広報番組「知ってよ！宝塚」としてYouTubeで発信する。	・「知ってよ！宝塚」(文化芸術関連をはじめ市の情報を月1回YouTubeにて配信) 12件 ・インターネット中継 2件	・継続して実施	広報課
6	宝塚市文化財団イベントラインナップの発行	年2回	—	財団の取組や主催事業に関する情報を掲載し、市内全戸に配布する。	・作成部数 4月120,000部全戸配布、10月15,000部窓口配布	4月に全戸配布、120,000部作成	文化政策課 (文化財団)
7	宝塚市文化財団のホームページ	通年	—	イベントカレンダーや各分野のページにて、財団の主催事業の開催や取組などを周知する。	・文化財団ホームページアクセス数 29,000回/月	ホームページのデザイン更新予定	文化政策課 (文化財団)
8	「ウィズたからづか」への掲載	通年	—	毎月発行される地域文化情報誌「ウィズたからづか」の誌面に、財団事業を中心とする文化情報を掲載する。	・月1回 25,000部発行(庁内や各施設などで配布)	・継続して実施	文化政策課 (文化財団)

(2) 情報サイト、情報ネットワークの構築

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	市ホームページの活用	通年	—	新たな施設を含め、多角的な文化芸術に関する情報を市ホームページから発信する	市内文化芸術関連施設のリンク先を市ホームページに集約		文化政策課

【方向性7】 支える

市民の文化芸術活動を、様々な形で支え、応援する体制づくりをめざします。

(1) 文化芸術活動を支援する体制の拡充

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	文化団体の育成支援	通年	—	音楽及び舞台芸術の普及・振興と当該分野の裾野拡大を目的として、文化団体の育成を図る。	宝塚市交響楽団、宝塚市吹奏楽団、宝塚少年少女合唱団、劇団BIGMOUSEの活動支援を行った。	継続して実施	文化政策課 (文化財団)
2	市民ボランティア団体との連携	通年	—	Face to Faceなどの市民団体と連携し、各種イベントの受付や場内アナウンスなどを行う。また、連絡会や研修会を定期的に行い、会員の育成も図っている。	・Face to Face 協力事業数67事業、協力人数のべ370人	継続して実施	文化政策課 (文化財団)
3	中学校部活動外部指導者活用事業 【再掲】	通年	各中学校	宝塚市部活動推進委員会に委託し、中学校の部活動に外部指導者を派遣する。	・継続して実施 宝塚市部活動推進委員会に委託し、茶華道、琴、吹奏楽などの指導者を派遣	継続して実施	学校教育課

(2) 活動助成制度などの研究

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	きずなづくり推進事業	通年	—	市民と市の協働のまちづくりを推進することを目的に、市民活動を行う団体に事業費の一部を補助する。	・文化芸術系事業 応募3件、実施3件(行政提案型テーマ(「文化の薫り高い宝塚をめざして文化芸術都市にふさわしい市民が主役のまちづくり」を含む))	継続して実施	市民協働推進課 文化政策課
2	のびのびパスポート事業 【再掲】	通年	各施設	神戸市を中心とした博物館、美術館などを無料で利用できるパスポートを小中学生に配布し、子どもたちの豊かな情操や感性を育むために活用する。印刷製本費を市で負担。	・神戸市の近隣市町で継続して実施 市内の「のびのびパスポート」対象施設 ・手塚治虫記念館 4,292人 ・宝塚文化創造館 90人 ・小浜宿資料館 ・旧和田家住宅 ※類似事業:ひょうごっ子コロソナカード	継続して実施	社会教育課 手塚治虫記念館 文化政策課(文化財団)
3	対外課外活動補助金 【再掲】	通年	各中学校	各中学校の部活動の充実を図るため、中学校部活動支援補助金、対外課外活動補助金として、各種大会の参加費や交通費などを補助する。	・継続して実施 部活動への補助	継続して実施	学校教育課
4	中学校吹奏楽部楽器購入 【再掲】	通年	各中学校	吹奏楽部の楽器購入の支援を行う。	・継続して実施 楽器の新調、更新	継続して実施	学校教育課

(3) 専門的な知識を有するスタッフの育成

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	舞台芸術ワークショップ事業	通年	宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)	舞台上のプレイヤーのノウハウ(ダンス、舞台メイク等)から、バックステージのノウハウ(大道具、音響、照明等)まで、幅広く実施する。	・6～2月 計10講座(参加者数のべ280人)	・6～3月 計7回、文化創造館で開催予定	文化政策課 (文化財団)

(4) 産官学民連携による事業の研究

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	市内の高校との連携事業	—	国際・文化センター等	公立・私立高校と連携し、駅前での吹奏楽部ミニコンサートや美術部展を開催する。	・11月26日 吹奏楽部・ミニコンサート(宝塚北高校) ・1月27日～31日 高校生美術部展(市内6高校)	11月に吹奏楽部ミニコンサート開催予定 2月に高校生美術部展開催予定	文化政策課
2	大学との連携事業	通年	—	市内外の大学と連携し、新たな文化事業の展開を目指す。	市内大学との連携を模索したが、学生の募集が停止されたため、新たな連携先を探す必要がある。	—	文化政策課
3	文化財保護事業【再掲】	通年	—	小林聖心女子学院と連携し、文化遺産を伝え、市民が愛着を持てるまちづくりを図る。	・11/23に国登録文化財である小林聖心女子学院開放事業を、学校・地元自治会と協働で行った。来場者91人	・11月に小林聖心女子学院開放事業を開催予定	社会教育課 文化政策課

(5) コーディネーター等育成のための研究

No.	事業名	実施時期	実施場所	事業の概略	平成28年度実績	平成29年度事業計画	担当課
1	イベントづくりワークショップ事業	—	宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)	イベント制作や舞台の研修を経て、実際に2つのワークショップイベントを創りながら、ノウハウを学ぶ。終了後はボランティアとして登録可能。	・6～9月 全9回(参加者数のべ29人) ・ボランティア登録 4名(11月末時点)	・継続して実施	文化政策課 (文化財団)